

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	極限寿命生物の活動的長寿を支える抗老化システム
研究代表者	松浦 健二 (京都大学・大学院農学研究科・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、王の寿命が70年以上というヤマトシロアリを研究対象として、カースト（王、女王、働き蟻）間の比較エピゲノム解析、王の代謝解析、近縁種との遺伝子発現・代謝の比較解析などを通して、その活動的長寿命を支えるヤマトシロアリの社会システム、分子・生理機構、進化的背景を解明することを目的としている。応募者らは、ヤマトシロアリの王が昆虫としては例外的に長寿であることを世界に先駆けて発見し、独自の発想と技術を駆使して本研究の遂行に向けた準備を着実に進めており、独創的かつ先駆的な研究を更に発展させることが期待できる。</p>